

# 令和7年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

## テーマ：地域とふれあい、 豊かな心を育てよう

佐世保市立福石中学校  
佐世保市干尽町2番10号  
校長 堀川 優彦  
生徒数 206名  
学級数 8（内特支2）

本年度のテーマを「地域とふれあい、豊かな心を育てよう」を定め、佐世保市を担う人材の育成や情操教育の充実、プロジェクト学習において地域や企業と連携しながら佐世保も魅力を発信することなどを目指し、地域に生きる生徒を育てようと努めた。

### 1 郷土人材活用による郷土学習の推進・深化

本校では、郷土についての理解と関心を深め、自分の将来の目標を立てるきっかけづくりとして、職業講話を行った。地元の洋菓子店や競輪選手、市役所職員、自衛隊、公務員、警察・消防などあらゆる職種から講師として招き、仕事に対する考え方や必要な知識や資格などを講話していただき、将来の職業に対する意識を高めることができた。



また、ふるさと佐世保のよさを理解し、愛着を持ち、主体的に発信する「新・佐世保魅力発信プロジェクト」に取り組んだ。関係企業や大学と連携・協働を図り、佐世保の魅力を発信するコンセプトや生徒が自主開発したグッズについて助言をいただきながら、発表会や販売会を行った。

### 2 郷土人材招聘による情操の涵養

今年度は郷土人材招聘のテーマのもと、地域から人材を招き、触れ合いの中で学習することができた。



10月6日にベーシストとして東京でご活躍中の本校卒業生の方をお招きして、「ジャズアウトリーチコンサート」を行った。ジャズというジャンルをほとんどの生徒が知らない中、「ジャズとは?」「型にはまらないアドリブの楽しさ」を生の演奏に触れることで、生徒は自然と手拍子をしたり体を揺らしたりするなど、心地よい音楽に大いに感銘を受けていた。

また、1年生は、11月18日に火起こし体験や勾玉づくりなどの自然体験学習を行った。世知原少年自然の家から道具をお借りして実施した火起こし体験では、なかなか火が起こらないことに苦戦しながらも、講師のアドバイスを受け、火を起すことができたグループから大きな歓声が沸き起こった。



その他、がんとはどのような病気か、治療方法、がん患者の気持ちなどがんの特徴と課題について、深く考えるきっかけとなった「がん教育講話」やバウンダリーの概念やプライベートパーツと価値観、恋愛と同意の重要性などを学ぶ「性教育講話」などを行った。

### 3 生徒の自律の促進

本事業を行うことにより、生徒の心情面を盛り上げ、情操を豊かにするような取組を目指した。

部活動では、どの部活動においても毎日コツコツと練習を積み重ね、各種大会で精一杯の活躍をし、成果をあげた。特に校内の選抜メンバーで編成した女子駅伝部においては、昨年のタイムを3分も短縮し「躍進賞」に輝いた。本校の生徒が活躍することで、学校への誇りを高め、地域の応援もいただいた。

また、スポーツ面だけではなく、文化面での頑張りも目覚ましかった。「子ども県展」における知事賞や特選・入選、「佐世保俳句大会」における佐世保市長賞や教育長賞など様々な作品が県や九州でも入賞し、情緒面での成長がみられた。

さらに、本校の生徒会スローガンの横断幕の作成を行い、生徒の学校への愛校心を育てる取組を行った。校訓、生徒会スローガンの横断幕は校門横に掲示し、保護者や地域の方々への理解、協力をさらに推進し、地域に根差した学校教育の充実を図っていく。

今年度は地域の方や関係企業や各種団体などつながり、充実した取組を行うことができた。その中で、本事業のお陰で外部講師を潤沢に呼ぶことができ、校内外の環境を整備することで情操を涵養することができた。その結果、生徒たちは活気あふれる学校生活を送ることができた。

